



短歌

末武 有二 選

道のべに草木を葛の花おほふ一穂手折れば匂  
ふ紅花 安永 守住 孝子

幼らの成長うれしく動画なる運動会を繰り返  
し見る 惣領 島田 廣子

秋寂しコスモスの花に語りかけ呼べど心えず  
吾が妹は 馬水 増田 訓子

故郷の祖父母が眠る墓碑の前線香消えても思  
いで語る 惣領 甲斐 道夫

洗濯機ドラムの中でカランカラン夏の名残の  
貝殻ひとつ 木山 本田 龍子

郊外に野晒しそのまま中古車はフロントガラス  
に値段貼られて 惣領 垣野 幸一

秋晴れの運動会で生徒たち必死の声援辺りに  
響く 広崎 日野ヒロ子

たのしきは金平糖の花のあとチョコの実のな  
る百日紅かな 木山 赤城 香織

天高く澄める空でも秋風は寂し切なし通り過  
ぎゆく 広崎 大原 郁

肌爛の染み入るなかで秋染る夏のほてりも良  
き思い出よ 馬水 倉本研一郎

目を奪う原始の林横に見て阿蘇路を馳けるト  
ロッコ列車 赤井 増岡 伸禧

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

家路へと秋の夕暮れ慌ただし  
彼岸花田圃の暁を赤く染め 広崎 大原 郁

朝晴れやゴルフに行けば雷雨なり  
おすおすとジヤムを練りたる良夜かな 宮園 米村 盛子

片肌を脱ぎし浴衣や大ジヨツキ  
三歩前進二歩下りをり秋祭り 古閑 今村 恒心

窓しめてなを耳につく虫しぐれ  
天気予報のとおり今朝は傘を持ち 南阿蘇 菊池 蘇水

秋澄むや四方の山見てカップ麺  
ハガキ値上げで投句に陰り出るだろか 木山 鎌田 隆子

天気よし散歩つられて一万歩  
家ごとに湧水みえる馬水かな 赤井 増岡 伸禧

捨てられた馬券の中に万馬券  
新米を今年も夫に供へたり 熊本市 境 眞木子

ベランダの西日に朝顔植にけり  
トンボさん一緒に帰宅ありがとう 赤井 増岡 酔粋

西田さん死んだと聞いて月拝む  
ベランダに巣がかりせんとハトポツポ 木山 太公望 春夫

赤井 増岡 酔粋

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広  
報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

川柳

布田川左門 選

赤井 増岡 伸禧

赤井 増岡 酔粋



益城の文化財 町文化財保護委員会

連載企画(最終回)

益城の地名⑤ 自然災害と恵み

前回、地名には災害の記憶を継承する役割があることをお伝えしました。ただし、自然災害がもたらすものは、決して負の影響だけではなくありません。

■自然災害がもたらした恵み：

①「水の恵み」

町内各地に存在する豊富な水脈は、地震活動の結果露出したと考えられている。

その水は町の良質な米作りを支えている。

かつては水運によって、国内各地からの多くの物資が流通していた(木山初市の由来)。

水が湧く場所には神社が設けられ、祭礼行事が行われている。

②「大地の恵み」

スイカやサツマイモなどを豊かに実らせる地形と土壌は、地震と火山によって形成された。